

# さくら教室だより

令和5年6月16日  
東久留米市立第九小学校  
校長 山本 真美枝  
特別支援教室 担任



**6月も中旬です。**



プール指導の時期になりました。まだまだ気温が低く、入水することは少ないですが、季節は夏に向かっていきます。暑い時期に必要なことは、衣服の調節、汗を拭くなどの健康管理、水分補給です。自分で考え、季節に合わせた行動ができるようになることも、大事な学習の一つです。また、雨天も多くなります。外に行けないとき、室内で落ち着いて過ごすにはどうするのか指導していきたいです。

## 〇 授業について

特別支援の授業はその子に合ったものを実践するオーダーメイドの授業です。保護者の方や担任の先生と一緒に、児童の困り感を軽減し、学級の中で自分の力を発揮できるようにしていくことが最終目標にあります。さくら教室のような巡回指導では個別学習と小集団学習を実施しています。

### 個別学習

個別学習では、先生と児童が1対1で授業を行っています。授業の始めは、いつも児童と話すことから始めます。例えば、低学年なら「授業はどんなことが楽しい?」「お友達とどんなこととして遊んでるの?」、中学年なら「何か授業で分からないことある?」「最近、クラスでどんな勉強してるの?」、高学年なら「移動教室どうだった?」「中学校に向けて何か心配なことある?」といった具合です。

授業の最初に児童と話す時間を取ることで、児童と関係を築き、不安を和らげることと、児童の困り感を把握し、授業に活かせるようにすることが狙いです。

### 小集団指導

同じ学年同士で集まって学習をします。小さな学級のような環境の中で、ゲームをしたり、運動をしたりします。小集団のよさを生かし、勝ち負けがつく活動をして勝敗を受け入れる力を伸ばしたり、友達と協力する姿勢を身に付けたりすることを目指しています。

小集団で落ち着いて行動し、周囲との関りが楽しめるようになると、それを自分の学級でも実践できるようになっていきます。コミュニケーションのスマールステップです。

## 〇 7月の予定

- ・7月12日 指導終了
- ・7月14日 巡回終了（翌週からさくら教室の教員は九小にいます）



# 【さくら教室のちょこっとコラム】

～授業でこんなもの使ってます編～



## ①コグトレ棒



### 【認知機能訓練におすすめ】

この棒を使って、体をひねったり、棒を投げてキャッチしたり、体の部位を覚えたりする活動をしています。この棒を使ったトレーニングを通じて、体のバランスを整えたり、力加減を覚えたり、距離感を把握したりする力を養います。すぐに効果はでませんが、継続して行くと、少しずつ児童の体を動かし、目と手を共動する技能を高めていく効果があります。新聞紙で作れるので、ご家庭でもお試しください。

## ②特別支援教育系のサイト



### 【無料で使える特別支援教育系のサイト】

簡単なワーキングメモリやビジョントレーニングのトレーニングができるサイトがあります。授業の最初や最後に活用していますが、どれも無料なのに非常にしっかりできていて素晴らしいです。ワーキングメモリやビジョントレーニングは継続的な積み重ねが重要なので、年間を通じて続けていきます。

また、特別支援学校などでもよく使っているドロップレットプロジェクトというシンボルのサイトは視覚支援にも活用できます。

エデアル：<https://edeal-soft.com/>

ドロップレットプロジェクト：

[https://droptalk.net/?page\\_id=116](https://droptalk.net/?page_id=116)

## ③刺繍や編みもの

編み物は、指先の巧緻性を高める学習に効果的です。また刺繍は、作品として少しずつ完成していくので、取り組む上でも楽しくすすめることができます。細かく指を動かすことや糸の流れをしっかりと見るための集中力など、黙々と活動するのに最適な教材です。作品が仕上がると、喜びもひとしおですよ。

